

事務事業名		消防施設整備事業(消防水利関係)				☒ 実施計画掲載事業		☐ 総合戦略掲載事業			
政策体系	政策名	015 やすらぎある安全なまちづくりの推進				事業期間		予算科目			
	施策名	22 防災対策の推進						会計	款	項	目
	基本事業名	05 消防体制の充実				☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	09	01	03
根拠法令								事務事業区分			
所属	部課名	大船渡消防署						A 政策事業 B 施設整備			
	課長名	菊池 一夫						C 施設管理 D 補助金等			
	係 名	警防係	電話	27-3592				E 一般(A～D以外)			
	担当者	吉田 久悦	内線	433							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 火災等の災害に対し、消防団の有効な消防活動のための消防水利(防火水槽)を新設する事業。設置場所の選定、工事入札、完成検査まで実施していく。						全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
						総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		
								都道府県支出金			
								地方債			
								その他			
								一般財源			
							事業費計(A)	0			
						人件費	正規職員従事人数				
							延べ業務時間				
							人件費計(B)	0			
						トータルコスト(A)+(B)		0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

・防火水槽を2基新設した。
赤崎町字大洞地内1基
盛町字二本杵地内1基

今年度計画(今年度計画している主な活動)

・防火水槽を2基新設する。
末崎町字中野地内1基
三陸町越喜来字前田地内1基

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

消防用水利(防火水槽)

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

火災発生に備え、地域の状況に応じて、適切に整備される。

④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)

・火災等の災害時に的確な消火活動ができる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 防火水槽新設	基
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 防火水槽新設	基
キ	
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 防火水槽新設	基
シ	
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円					21,900	22,000
		その他	千 円						
	人件費	一般財源	千 円					72	0
		事業費計 (A)	千 円	0	0	0	0	21,972	22,000
		正規職員従事人数	人					2	2
		延べ業務時間	時 間					450	450
		人件費計 (B)	千 円	0	0	0	0	1,800	1,800
トータルコスト(A)+(B)		千 円	0	0	0	0	23,772	23,800	
⑤活動指標		ア	基					2	
		イ							
		ウ							
⑥対象指標		カ	基					2	
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	基					2	
		シ							
		ス							

事務事業ID	1768	事務事業名	消防施設整備事業(消防水利関係)
--------	------	-------	------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

主要施策、消防施設整備事業(消防水利関係)による。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

住宅事情の変化により、消防水利の空白域が出てきている現状であり、消防行政を進めていく中で、積極的に防火水槽等の水利の確保に努めていかなくてはならない。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

地域からの要望としても防火水槽等の水利を要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	安全なまちづくりを行う上で、火災等の災害に対応するために実施していかなければならない事項である。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	消防行政にあたっては実施しなければならない事項である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	住民の安全を確保するため、防火水槽等の水利を計画的に設置していかなければならない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	地域の安全なまちづくりに果たす役割は大であり地域住民に安心感を与え、地域住民からの期待に応えられるものとなっている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	安全なまちづくりを行う上で、火災等の災害に対応するためには必要な事業であり、市民からの消防に対する期待度の低下、失望感を招く。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	精査検討して入札に諮っており事業費削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	入札により外部発注となり、人件費削減には結びつかない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	防火水槽設置工事は自治体の行政責任である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下	×	×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下	×	×	×																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	